

障害児通所支援事業所における医療的ケア児の受入れに関する調査研究 事業所向けアンケート

この調査は、子ども家庭庁の令和7年度 子ども・子育て支援等推進調査研究事業として、障害児通所支援における医療的ケア児の受入れについて実態を把握し、今後の支援のあり方を検討することを目的としています。ご回答いただいた内容は、報告書ならびに、手引き、事例集作成に活用させていただきます。

また、アンケート結果を踏まえ、後日、事業所へのヒアリングをお願いする場合がございます。

本調査は、各事業所の状況を把握することを目的としておりますため、同一法人内で複数の事業所を運営されている場合も、**1事業所ごとに1件のご回答をお願い申し上げます。**

なお、本調査の報告書において事業所を特定する情報が無許可で公表されることは一切ございませんので、安心してご回答ください。

つきましては、ご多用のところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解のうえ、アンケート調査へのご協力ををお願い申し上げます。

ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

※ご注意ください：

本アンケートは、一度に全ての設問にご回答いただく形式となっており、**途中保存はできません。**

回答にあたって準備が必要な場合や、あらかじめ設問を確認されたい場合は、**添付の調査票（PDF）をご覧いただいたうえで、ご回答の準備をお願いいたします。**

■回答期限 12月19日（金）

■問い合わせ先

株式会社 NTTデータ経営研究所 ライフ・バリュー・クリエイションユニット

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-9 JA共済ビル9階

メールアドレス: ikeaji_ukeire_r7@nttdata-strategy.com (担当: 田口、梶原、山下)

I 事業所の基本情報

同一法人内で複数の事業所を運営されている場合も、1事業所ごとに1件ご回答ください。

事業所が3か所ある場合は、3件のご回答をお願いいたします。

1. 事業所の基本情報をお答えください。
 - ・ 法人名
 - ・ 設置主体
 - ・ 事業所名
 - ・ 事業所番号
 - ・ 事業所の電話番号
 - ・ 回答者のメールアドレス
 - ・ 回答者名
 2. 事業所が所在する都道府県をお答えください。（1つ選ぶ）
 3. 事業所が所在する市町村をお答えください。（自由記載）
 4. 事業所の指定状況についてお答えください。（1つ選ぶ）
 - ・ 児童発達支援センター
 - ・ 児童発達支援事業所
 - ・ 主として重症心身障害児を受け入れる児童発達支援事業所
 - ・ 共生型児童発達支援
 - ・ 基準該当児童発達支援
 - ・ 放課後等デイサービス
 - ・ 主として重症心身障害児を受け入れる放課後等デイサービス
 - ・ 共生型放課後等デイサービス
 - ・ 基準該当放課後等デイサービス
 5. 多機能型事業所の指定を受けていますか。（1つ選ぶ）
 - ・ 受けている
 - ・ 受けていない
- 「多機能型事業所の指定を受けていますか。」の設問に「受けている」と回答した場合のみ
6. 一体的に行っている事業をお答えください。（いくつでも）
 - ・ 児童発達支援
 - ・ 放課後等デイサービス
 - ・ 居宅訪問型児童発達支援
 - ・ 保育所等訪問支援
 - ・ 生活介護
 - ・ 自立訓練（機能訓練・生活訓練）
 7. 多機能型の指定にかかわらず、同一法人で実施している事業をお答えください。（いくつでも）
 - ・ 児童発達支援
 - ・ 計画相談支援
 - ・ 障害児相談支援
 - ・ 居宅介護
 - ・ 重度訪問介護
 - ・ 同行援護
 - ・ 行動援護

- ・ 療養介護
- ・ 生活介護
- ・ 短期入所
- ・ 重度障害者等包括支援
- ・ 病院、診療所
- ・ 訪問看護
- ・ 訪問リハビリテーション
- ・ 訪問入浴
- ・ その他 ()
- ・ 特にない

8. 医療的ケア児のみを対象として受け入れを行っていますか。

- ・ はい
- ・ いいえ

9. 事業所の利用定員をご記入ください。

() 人

10. 事業所の契約人数をご記入ください。

() 人

11. 運営規定等に定める営業時間をご記入ください。

※サービス提供時間ではない点ご留意ください。

※開始時間が9時30分の場合は「0930」、終了時間が17時15分の場合は「1715」、営業時間が8時間の場合は「0800」とご記入ください。15分単位でご記入ください。

開始時間：() 時 () 分

終了時間：() 時 () 分

営業時間：() 時間 () 分

令和7年9月末時点の配置職員についてお答えください。

12. 配置されている職員数の合計をお答えください。

※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

※小数点以下の記入も可能です。

常勤 (実人数) () 人

非常勤 (実人数) () 人

常勤換算 (常勤・非常勤合算して算出) () 人

13. 次の職種のうち、貴事業所に配置されている職種をお答えください。(いくつでも)

※複数の資格を保有している職員については、主たる業務をもとに適切な専門資格をご回答ください。

- ・ 保育士
- ・ 児童指導員
- ・ 理学療法士
- ・ 作業療法士
- ・ 言語聴覚士
- ・ 心理担当職員
- ・ 看護師
- ・ 准看護師
- ・ 保健師
- ・ 助産師
- ・ 医師
- ・ 介護福祉士
- ・ その他の職員

以下回答した職種の設問のみ表示

14. 配置されている職員のうち、【保育士】の内訳をお答えください。
※児童発達支援、放課後等デイサービスに従事している時間のみご回答ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。
※小数点以下もご入力可能です。

常勤 実人数 () 人

非常勤 実人数 () 人

常勤換算 () 人

15. 配置されている職員のうち、【児童指導員】の内訳をお答えください。
※児童発達支援、放課後等デイサービスに従事している時間のみご回答ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。
※小数点以下もご入力可能です。

常勤 実人数 () 人

非常勤 実人数 () 人

常勤換算 () 人

16. 配置されている職員のうち、【理学療法士】の内訳をお答えください。
※児童発達支援、放課後等デイサービスに従事している時間のみご回答ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。
※小数点以下もご入力可能です。

常勤 実人数 () 人

非常勤 実人数 () 人

常勤換算 () 人

17. 配置されている職員のうち、【作業療法士】の内訳をお答えください。
※児童発達支援、放課後等デイサービスに従事している時間のみご回答ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。
※小数点以下もご入力可能です。

常勤 実人数 () 人

非常勤 実人数 () 人

常勤換算 () 人

18. 配置されている職員のうち、【言語聴覚士】の内訳をお答えください。
※児童発達支援、放課後等デイサービスに従事している時間のみご回答ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。
※小数点以下もご入力可能です。

常勤 実人数 () 人

非常勤 実人数 () 人

常勤換算 () 人

19. 配置されている職員のうち、【心理担当職員】の内訳をお答えください。
※児童発達支援、放課後等デイサービスに従事している時間のみご回答ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。
※小数点以下もご入力可能です。

常勤 実人数 () 人

非常勤 実人数 () 人

常勤換算 () 人

20. 配置されている職員のうち、【看護師】の内訳をお答えください。
※児童発達支援、放課後等デイサービスに従事している時間のみご回答ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。
※小数点以下もご入力可能です。

常勤 実人数 () 人

非常勤 実人数 () 人

常勤換算 () 人

21. 配置されている職員のうち、【准看護師】の内訳をお答えください。
※児童発達支援、放課後等デイサービスに従事している時間のみご回答ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。
※小数点以下もご入力可能です。

常勤 実人数 () 人

非常勤 実人数 () 人

常勤換算 () 人

22. 配置されている職員のうち、【保健師】の内訳をお答えください。
※児童発達支援、放課後等デイサービスに従事している時間のみご回答ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。
※小数点以下もご入力可能です。

常勤 実人数 () 人

非常勤 実人数 () 人

常勤換算 () 人

23. 配置されている職員のうち、【助産師】の内訳をお答えください。
※児童発達支援、放課後等デイサービスに従事している時間のみご回答ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。
※小数点以下もご入力可能です。

常勤 実人数 () 人

非常勤 実人数 () 人

常勤換算 () 人

24. 配置されている職員のうち、【医師】の内訳をお答えください。
※児童発達支援、放課後等デイサービスに従事している時間のみご回答ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。
※小数点以下もご入力可能です。

常勤 実人数 () 人

非常勤 実人数 () 人

常勤換算 () 人

25. 配置されている職員のうち、【介護福祉士】の内訳をお答えください。
※児童発達支援、放課後等デイサービスに従事している時間のみご回答ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。
※小数点以下もご入力可能です。

常勤 実人数 () 人

非常勤 実人数 () 人

常勤換算 () 人

26. 配置されている職員のうち、【その他の職員】の内訳をお答えください。
※児童発達支援、放課後等デイサービスに従事している時間のみご回答ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。
※小数点以下もご入力可能です。

常勤 実人数 () 人

非常勤 実人数 () 人

常勤換算 () 人

27. 貴事業所に喀痰吸引等研修（基本研修＋実地研修）を修了した職員（介護福祉士や保育士等）はいますか。（1つだけ）
- ・ はい
 - ・ いいえ
28. 喀痰吸引等研修（基本研修＋実地研修）を修了した職員（介護福祉士や保育士等）の人数をご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。
- ・ 第1号研修（　）人
 - ・ 第2号研修（　）人
 - ・ 第3号研修（　）人
 - ・ 介護福祉士の養成課程（　）人
29. 貴事業所は医療的ケア児を受け入れていますか。
- ・ 受け入れている（➡ III 医療的ケア児の契約状況へ進んでください）
 - ・ 受け入れていない（➡ II 医療的ケア児の受け入れについての検討状況へ進んでください）

II 医療的ケア児の受け入れについての検討状況 ※医療的ケア児を受け入れていない事業所のみ

30. これまで医療的ケア児からの利用希望はありましたか。 (1つ選ぶ)

- ・ あつた
- ・ なかつた

「これまで医療的ケア児からの利用希望はありましたか」で「あつた」とご回答した場合のみ

31. 受け入れに至らなかつた理由は何ですか。 (いくつでも)

- ・ 職員の不安感が強いため
- ・ 医療的ケア児に対応するためのノウハウが十分ではないため
- ・ 看護師の確保が難しいため
- ・ 咳痰吸引等制度の登録事業者の指定が難しいため
- ・ 咳痰吸引等研修を受講した者の確保が難しいため
- ・ 連携する医療機関等の確保が難しいため
- ・ 運営が不安定になるため
- ・ 他児への影響が心配なため
- ・ 安全面に不安があるため
- ・ 設備が不充分であるため
- ・ 地域の理解が十分ではないため
- ・ 緊急対応に不安があるため
- ・ 災害時の対応に不安があるため
- ・ 医療的ケア児以外の特性への支援に特化するなど、事業所の方針に沿わないため
- ・ 特に理由はない

医療的ケア児を受け入れていない事業所は **VII 医療的ケア児の受け入れ拡大に向けて へ進んでください。**

III 医療的ケア児の契約状況 ※医療的ケア児を受けて入れている事業所のみ

32. 事業所における各医療的ケアを必要とする医療的ケア児の総人数をご記入ください。(令和7年9月末時点)1/2

※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

- ・ 人工呼吸器（鼻マスク式補助換気法、ハイフローセラピー、間歇的陽圧吸入法、排痰補助装置及び高頻度胸壁振動装置を含む）の管理 () 人
- ・ 気管切開の管理 () 人
- ・ 鼻咽頭エアウェイの管理 () 人
- ・ 酸素療法 () 人
- ・ 吸引（口鼻腔・気管内吸引） () 人
- ・ ネブライザーの管理 () 人
- ・ 経管栄養 () 人
- ・ 中心静脈カテーテルの管理（中心静脈栄養、肺高血圧症治療薬、麻薬など） () 人

33. 事業所における各医療的ケアを必要とする医療的ケア児の総人数をご記入ください。(令和7年9月末時点)2/2

※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

- ・ 皮下注射 () 人
- ・ 血糖測定（持続血糖測定器による血糖測定を含む） () 人
- ・ 繼続的な透析（血液透析、腹膜透析を含む） () 人
- ・ 導尿 () 人
- ・ 排便管理 () 人
- ・ 瘰攣時の坐剤挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置 () 人
- ・ その他 () 人

34. 「その他」を回答された方は、「その他」の内容について具体的にお答えください。（自由記述）

35. 令和7年9月末時点の契約者の医療的ケア区分別の【合計人数】についてご記入ください。

※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

36. 医療的ケアが必要であるにもかかわらず、医療的ケアの区分を適用せずに受け入れている契約者はいますか。

(1つ選ぶ)

- ・ いる→ () 人
- ・ いない

37. 医療的ケア区分を適用しない理由等をご記入ください。（自由記述）

38. 医療的ケア児の受入にあたり、保護者の付き添いを求めている契約者はいますか。（1つ選ぶ）

- ・ いる→ () 人
- ・ いない

39. 付き添いを求める理由等をご記入ください（自由記述）

40. 令和7年9月末時点の契約者の年齢として当てはまるものをお答えください。（いくつでも）

- 0歳、1歳、2歳、3歳、4歳、5歳、6歳、7歳、8歳、9歳、10歳
- 11歳、12歳、13歳、14歳、15歳、16歳、17歳、18歳

以下、「令和7年9月末時点の契約者の年齢として当てはまるものをお答えください。」で選択した年齢のみ表示

以降、各年齢における人数と医療的ケア区分をご記入ください。

※当該年度の4月1日現在で判断します。

※0歳の場合は、0歳児に分類ください。

41. 【0歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。

※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

42. 【1歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。

※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

43. 【2歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。

※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

44. 【3歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

45. 【4歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

46. 【5歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

47. 【6歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

48. 【7歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

49. 【8歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

50. 【9歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

51. 【10歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

52. 【11歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

53. 【12歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

54. 【13歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

55. 【14歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

56. 【15歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

57. 【16歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

58. 【17歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

59. 【18歳】の令和7年9月末時点の契約者の状況についてご記入ください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

医療的ケア区分1 () 人

医療的ケア区分2 () 人

医療的ケア区分3 () 人

医療的ケアがない児童 () 人

IV 医療的ケア児の利用状況について

※医療的ケア児を受けて入れている事業所のみ

60. 基準として配置している看護職員は何名ですか。
() 人

61. 人員配置基準を超えて配置している看護職員は何名ですか。
() 人

62. 「人員配置基準を超えて配置している看護職員以外に配置している看護職員」の人数で「0」以外の数字を記入された方のみご回答ください。
その理由をお答えください。（自由記述、任意設問）

63. 医療的ケア児が不在の際の具体的な看護職員の業務についてご記入ください。（自由記述）

64. 令和7年6月の医療的ケア児の利用等の状況についてお答えください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

- 利用予定の延べ人数 () 人
- 実利用の延べ人数 () 人

65. 令和7年8月の医療的ケア児の利用等の状況についてお答えください。
※該当者がいない場合は「0」と記載してください。

- 利用予定の延べ人数 () 人
- 実利用の延べ人数 () 人

以下は「次の職種のうち、貴事業所に配置されている職種をお答ください。」で選択した項目のみ表示

66. 事業所で【保育士】が下記のケアをどの程度担当しているか選択してください。（各行で1つずつ選択）

常に行っている 時々行っている 稀に行っている 行っていない

医療的ケアを必要とする児童の発達支援・

活動参加のサポート

集団活動等での進行役

個別の発達支援の実施

移動・移乗等の介助

食事や排せつ時の介助

その他

67. 事業所で【児童指導員】が下記のケアをどの程度担当しているか選択してください。 (各行で 1 つずつ選択)

常にしている 時々している 稀にしている 行っていない

医療的ケアを必要とする児童の発達支援・

活動参加のサポート

集団活動等での進行役

個別の発達支援の実施

移動・移乗等の介助

食事や排せつ時の介助

その他

68. 事業所で【理学療法士】が下記のケアをどの程度担当しているか選択してください。 (各行で 1 つずつ選択)

常にしている 時々している 稀にしている 行っていない

医療的ケアを必要とする児童の発達支援・

活動参加のサポート

集団活動等での進行役

個別の発達支援の実施

移動・移乗等の介助

食事や排せつ時の介助

その他

69. 事業所で【作業療法士】が下記のケアをどの程度担当しているか選択してください。 (各行で 1 つずつ選択)

常にしている 時々している 稀にしている 行っていない

医療的ケアを必要とする児童の発達支援・

活動参加のサポート

集団活動等での進行役

個別の発達支援の実施

移動・移乗等の介助

食事や排せつ時の介助

その他

70. 事業所で【言語聴覚士】が下記のケアをどの程度担当しているか選択してください。 (各行で 1 つずつ選択)

常に行っている 時々行っている 稀に行っている 行っていない

医療的ケアを必要とする児童の発達支援・

活動参加のサポート

集団活動等での進行役

個別の発達支援の実施

移動・移乗等の介助

食事や排せつ時の介助

その他

71. 事業所で【心理担当職員】が下記のケアをどの程度担当しているか選択してください。 (各行で 1 つずつ選択)

常に行っている 時々行っている 稀に行っている 行っていない

医療的ケアを必要とする児童の発達支援・

活動参加のサポート

集団活動等での進行役

個別の発達支援の実施

移動・移乗等の介助

食事や排せつ時の介助

その他

72. 事業所で【看護師】が下記のケアをどの程度担当しているか選択してください。 (各行で 1 つずつ選択)

常に行っている 時々行っている 稀に行っている 行っていない

医療的ケアの実施

医療的ケアを必要とする児童の発達支援・

活動参加のサポート

集団活動等での進行役

個別の発達支援の実施

移動・移乗等の介助

食事や排せつ時の介助

その他

73. 事業所で【准看護師】が下記のケアをどの程度担当しているか選択してください。 (各行で 1 つずつ選択)

常にしている 時々している 稀にしている 行っていない

医療的ケアの実施

医療的ケアを必要とする児童の発達支援・

活動参加のサポート

集団活動等での進行役

個別の発達支援の実施

移動・移乗等の介助

食事や排せつ時の介助

その他

74. 事業所で【保健師】が下記のケアをどの程度担当しているか選択してください。 (各行で 1 つずつ選択)

常にしている 時々している 稀にしている 行っていない

医療的ケアの実施

医療的ケアを必要とする児童の発達支援・

活動参加のサポート

集団活動等での進行役

個別の発達支援の実施

移動・移乗等の介助

食事や排せつ時の介助

その他

75. 事業所で【助産師】が下記のケアをどの程度担当しているか選択してください。 (各行で 1 つずつ選択)

常にしている 時々している 稀にしている 行っていない

医療的ケアの実施

医療的ケアを必要とする児童の発達支援・

活動参加のサポート

集団活動等での進行役

個別の発達支援の実施

移動・移乗等の介助

食事や排せつ時の介助

その他

76. 事業所で【医師】が下記のケアをどの程度担当しているか選択してください。（各行で1つずつ選択）

常にしている 時々している 稀にしている 行っていない

医療的ケアの実施

医療的ケアを必要とする児童の発達支援・

活動参加のサポート

集団活動等での進行役

個別の発達支援の実施

移動・移乗等の介助

食事や排せつ時の介助

その他

77. 事業所で【介護福祉士】が下記のケアをどの程度担当しているか選択してください。（各行で1つずつ選択）

常にしている 時々している 稀にしている 行っていない

医療的ケアの実施

医療的ケアを必要とする児童の発達支援・

活動参加のサポート

集団活動等での進行役

個別の発達支援の実施

移動・移乗等の介助

食事や排せつ時の介助

その他

78. 事業所で【喀痰吸引等研修（基本研修+実地研修）を修了した職員（介護福祉士や保育士等）】が下記のケアをどの程度担当しているか選択してください。（各行で1つずつ選択）

常にしている 時々している 稀にしている 行っていない

医療的ケアの実施

医療的ケアを必要とする児童の発達支援・

活動参加のサポート

集団活動等での進行役

個別の発達支援の実施

移動・移乗等の介助

食事や排せつ時の介助

その他

▽ 医療的ケアの実施体制について ※医療的ケア児を受けて入れている事業所のみ

79. 医療的ケア児を受け入れるために、設備面で変更・実施したことをお答えください。（いくつでも）

- ・スロープを設ける等、バリアフリー化した
- ・動線や十分なスペースが確保できるようにした
- ・コンセントや電源の位置等について工夫した
- ・車いす対応可能な車両等を用意した
- ・活動場所と休息場所を分ける等の工夫をした
- ・ICTを導入した
- ・浴室を工夫した
- ・非常用電源を確保した
- ・その他（ ）
- ・特はない

80. 医療的ケアに必要となる機器・物品について工夫していることをお答えください。（いくつでも）

- ・必要量よりも多く持参するよう保護者に依頼している
- ・保護者が持参し忘れた場合に備え、事業所で預かっている
- ・事業所でストックを用意している
- ・病院・診療所・薬局・メーカー等と連携している
- ・その他（ ）
- ・特はない

81. 医療的ケア児を受け入れるために連携している外部機関をご記入ください。（いくつでも）

- ・病院（在宅医療連携室を含む）
- ・在宅診療所
- ・訪問看護ステーション
- ・薬局
- ・医療的ケア児等支援センター
- ・保健所・保健センター
- ・市区町村
- ・児童相談所
- ・保育所等
- ・学校
- ・消防署
- ・人工呼吸器等の医療機器メーカー
- ・その他（ ）
- ・特はない

82. 医療的ケア児の情報について、情報収集を行った先についてお答えください。（いくつでも）

- ・保護者
- ・主治医
- ・病院（在宅医療連携室・ソーシャルワーカーを含む）
- ・在宅診療所
- ・訪問看護ステーション
- ・薬局
- ・医療的ケア児支援センター
- ・医療的ケア児等コーディネーター
- ・すでに医療的ケア児を受け入れている他事業所
- ・保健所・保健センター
- ・市区町村
- ・児童相談所
- ・保育所等
- ・学校
- ・人工呼吸器等の医療機器メーカー
- ・その他（ ）

83. 情報収集を行うにあたりアセスメントシート等の整備状況についてお答えください。 (いくつでも)

- ・ 事業所独自の書式で整えている
- ・ 自治体等が示す参考書式などを用いている
- ・ その他 ()
- ・ 特ない

84. 主治医から情報収集を行う際の実施方法についてお答えください。 (いくつでも)

- ・ 事業所の独自様式を用いた文書での実施
- ・ 医療機関の様式を用いた文書での実施
- ・ 電話、メール、オンライン会議等での実施
- ・ 保護者等を通した伝達による実施
- ・ 同行受診
- ・ 受診とは別の機会を設けた訪問
- ・ その他 ()

85. 家族との情報共有について工夫していることをお答えください。 (いくつでも)

- ・ 医療的ケア児等コーディネーターとの連携
- ・ 連絡帳でのやり取り
- ・ 送迎時等でのやり取り
- ・ 定期的な対面での面談
- ・ オンライン等を用いた面談
- ・ メールや電話での対応
- ・ アプリや ICT ツールを用いたやり取り
- ・ その他 ()
- ・ 特ない

86. 個別支援計画を作成する際、どのような関係機関と連携して作成していますか。

- ・ 病院
- ・ 在宅診療所
- ・ 訪問看護ステーション
- ・ 薬局
- ・ 医療的ケア児支援センター
- ・ 医療的ケア児等コーディネーター
- ・ 対象となるお子様が利用している別の事業所
- ・ 市区町村
- ・ 保育所等
- ・ 学校
- ・ その他 ()
- ・

87. 医療的ケアの定期的評価・見直しの頻度についてお答えください。 (1つだけ)

- ・ 3ヶ月未満
- ・ 3ヶ月以上 6か月未満
- ・ 6ヶ月以上 1年未満
- ・ 1年以上
- ・ 医療的ケアが変更した等、必要に応じたタイミング
- ・ その他 ()

88. 安全対策・ヒヤリハットについて工夫していることをお答えください。 (いくつでも)

- ・ 個々の医療的ケア児の安全対策マニュアルを作成している
- ・ 事業所の緊急対応時のマニュアルを作成している
- ・ 事業所の緊急対応時のマニュアルを職員に周知している
- ・ 事業所の緊急対応時のマニュアルを保護者に説明している
- ・ ヒヤリハットの事例集を作成し、職員で共有している
- ・ 安全対策・ヒヤリハットに関する研修を定期的に実施している
- ・ その他 ()
- ・ 特にない

89. 記録等の整備について工夫していることについてお答えください。 (いくつでも)

- ・ ケア記録の様式を統一した
- ・ 日々のケア記録にICTツールを導入した
- ・ 家庭から提供された情報（書面・動画など）を記録に組み込む仕組みを整えた
- ・ 看護師のアセスメント（SOAP等）を他職種とも共有できるよう工夫した
- ・ 多職種の記録を共有できるよう工夫した
- ・ その他 ()
- ・ 特にない

90. 医療的ケア児受け入れにおいてテクノロジーを導入、活用していますか。

※テクノロジーには、電子カルテなどのICTやロボットなどを含みます。

- ・ 導入して活用している
- ・ 導入しているがあまり活用できていない
- ・ 導入していない、検討中

「医療的ケア児受け入れにおいてテクノロジーを導入、活用していますか。」で「導入して活用している」または「導入しているがあまり活用できていない」を回答した方

91. 医療的ケア児受け入れにおいてどのようなテクノロジー（ICT・ロボット）を活用しているかお答えください。 (いくつでも)

- ・ 職員間でケア記録や支援計画をICTで共有している
- ・ 職員間でチャットやオンライン会議を活用している
- ・ 家庭とケア内容を動画などで共有している
- ・ 緊急時に家庭や医療機関とICTで連絡を取っている
- ・ 他事業所の看護師や専門職とオンラインで連携している

92. 医療的ケア児受け入れに向けて行った研修や実習の取り組みをお答えください。 (いくつでも)

- ・ 医療的ケア児支援センター等と連携し、研修体制を整備した
- ・ 医療的ケア児等コーディネーター養成研修を受講した
- ・ 医療的ケア児等支援者養成研修を受講した
- ・ 医療的ケアの基礎知識を学ぶ研修を実施した
- ・ 福祉職向けに医療的ケアの実技研修を実施した
- ・ OJT等を通して実際のケア場面を学ぶ機会を設けた
- ・ 緊急時対応（救急要請・応急処置）の訓練を実施した
- ・ その他 ()
- ・ 研修や訓練は実施していない

93. 医療的ケア児受け入れに向けて、職員体制や配置で工夫したことをお答えください。（いくつでも）

- ・ 看護職員の配置を増やした
- ・ 児童指導員等の配置を増やした
- ・ 担当する職員を、クラス担任制ではなく、複数職員で担当するローテーション制にした
- ・ 担当する職員を、ローテーション制ではなく、担任制にした
- ・ 人数を増やして対応できるようにした
- ・ 経験や資格の異なる職員をバランスよく配置した
- ・ 医療職と福祉職がペアで勤務するシフト体制をとった
- ・ 外部の訪問看護や主治医と常時連携できる体制を整えた
- ・ 職員間で役割分担を明確にし、責任範囲を共有した
- ・ 喀痰吸引等制度の登録事業者に登録した
- ・ 看護師不在時の喀痰吸引等に対応するため、喀痰吸引等研修を受講した者を配置した
- ・ 看護師と協働して喀痰吸引等に対応するため、喀痰吸引等研修を受講した者を配置した
- ・ 研修後も不安を抱える職員のフォローアップを行った
- ・ その他（ ）
- ・ 特に工夫したことはない

94. これまでに医療的ケア児の利用時に緊急対応を行ったことがありますか。（1つだけ）

- ・ ある
- ・ なし

「これまでに医療的ケア児の利用時に緊急対応を行ったことがありますか。」で「ある」と回答した方のみ

95. どのような事態にどのように対応しましたか（自由記述）

VI 医療的ケア児を受け入れている事業所の実務 ※医療的ケア児を受けて入れている事業所のみ

96. 医療的ケア児を受け入れるにあたって工夫したことをお答えください。 (いくつでも)

- ・ 医療的ケアに関するマニュアルや手順書を作成している
- ・ 職員会議を行い、医療的ケアを含む支援内容を全員で共有した
- ・ ICT ツールを導入して情報を即時に共有できるようにした
- ・ OJT 等を行い、職員が実際の場面で学べるようにした
- ・ 保護者と事前に丁寧に話し合い、安心できるケア内容を決めた
- ・ 介護福祉士や保育士等が喀痰吸引等研修を受け、一部の医療的ケアを担う体制を整えた
- ・ 医療機関と連携し、相談できる体制を整えた
- ・ 医療機関と事前に連携し、緊急時の対応手順を共有した
- ・ 事業所内の緊急時対応マニュアル等を作成した
- ・ 災害時に備えて非常用電源の確保等を行った
- ・ 職員の不安や疑問を都度聞き取り、相談できる環境を整えた
- ・ 受け入れる医療的ケア児の得意な活動や役割を見つけ、集団活動に参加できるよう工夫した
- ・ 喀痰吸引等研修を除く医療的ケアに関する研修を実施した（事業所内・外部研修等）
- ・ 喀痰吸引等研修の受講を促進した
- ・ 医療的ケア児の状態に応じた職員体制の確保（個別対応を含む）
- ・ 医療的ケア児の状態に応じた活動場所や時間帯等の工夫
- ・ 活動場所と休息場所の分離
- ・ その他（ ）
- ・ 特にない

97. 医療的ケア児を受け入れるうえで特に大変だったことをお答えください。 (いくつでも)

- ・ 看護職員の確保
- ・ 職員への研修や指導
- ・ 救急搬送や緊急対応の確立
- ・ 必要な医療的ケアに関する情報の収集・共有
- ・ 連携できる医療機関の確保
- ・ 家庭と事業所でケア内容の優先順位や考え方等の調整
- ・ 利用希望者の確保
- ・ 他の利用者との調整
- ・ 活動プログラムの企画・立案
- ・ 設備整備
- ・ その他（ ）
- ・ 特にない

VII 医療的ケア児の受け入れ拡大に向けて

98. 今後の医療的ケア児の受入れについてお答えください。（いくつでも）
- ・ 今後は積極的に受入れ人数を増やしていきたい
 - ・ 今後も現在と同じ程度の人数を受入れ、支援内容を充実させていきたい
 - ・ 今後も現在と同じ程度の人数を受け入れたい（現状維持）
 - ・ 今後は徐々に人数を減らしていきたい
 - ・ 今後は受入れをやめたい
99. 今後、医療的ケア児を受け入れるうえで大切にしたいと考えていることお答えください。（いくつでも）
- ・ 医療的ケア児本人の気持ちや希望を尊重する
 - ・ 医療的ケア児本人の得意なことや興味関心の幅を広げる
 - ・ 集団活動等も含めた様々な活動の機会を設ける
 - ・ 保護者と丁寧に話し合い、信頼関係を築く
 - ・ 家族のレスパイトを図る
 - ・ 家族の困りごとの解消など、家族支援をする
 - ・ 職員全員で支援を考え共有する
 - ・ 医療機関や地域と協力・連携する
 - ・ インクルージョンを推進する
 - ・ 安全に医療的ケアを行える環境を整える
 - ・ その他（ ）
 - ・ 特にない
100. 医療的ケア児の受入れを進めるために、今後どのような支援や取組が必要だと思いますか。（いくつでも）
- ・ 医療的ケア児支援センター・コーディネーターとの連携強化
 - ・ 医療機関・行政・他事業所との連携を円滑にする仕組みの整備
 - ・ 看護師など医療職の人材確保・配置への支援
 - ・ 福祉職が医療的ケアを担えるようにする制度整備や研修の充実
 - ・ 医療的ケアの基礎知識や実技を学べる研修機会の拡充
 - ・ ICT やオンラインツールを活用した情報共有・記録体制の整備
 - ・ 緊急時・災害時対応マニュアルなどの整備支援
 - ・ 医療的ケア児受入れに対する報酬や加算の拡充
 - ・ 国や自治体による予算事業・補助制度の充実
 - ・ 成功している事業所の好事例や取組の共有機会の創出
 - ・ 地域全体での理解促進や啓発活動の推進
 - ・ 相談や助言を受けられる窓口・支援体制の整備
 - ・ その他（ ）
 - ・ 特にない

VIII BCP の策定状況や災害安全計画の状況

■ BCP とは Business Continuity Plan (事業継続計画) の略称

災害時における不測の事態が発生しても重要な事業・業務を中断させない、又は可能な限り短期間で復旧させるための方針、体制及び手順等を示した「行動計画」のこと。

101. 事業継続計画（BCP）を策定していますか。

※自然災害や感染症など複数のリスクを対象として事業継続計画（BCP）を策定済あるいは策定中の場合、最も策定が進んでいるリスクについて状況をご回答ください（1つだけ）

- ・ 策定済である
- ・ 策定中である

102. 事業継続計画（BCP）に記載している貴事業所独自の項目についてお答えください。（いくつでも）

- ・ 従業員の安全確保
- ・ 災害対応チーム創設
- ・ 水、食料などの備蓄
- ・ 非常用電源・通信設備等の準備
- ・ 重要業務の決定
- ・ 目標復旧時間の設定
- ・ 企業・組織の中枢機能の確保
- ・ 意思決定者の設定等指揮命令系統
- ・ サプライチェーン維持のための方策
- ・ 二次災害防止対策
- ・ 情報及び情報システムの維持
- ・ 資金確保
- ・ その他（ ）

103. 災害対策・安全計画を策定していますか。（1つだけ）

- ・ 策定済である
- ・ 策定中である

104. 災害時に備えて実施している取り組みをお答えください。（いくつでも）

- ・ 災害対策のマニュアル等を作成している
- ・ 災害対策・安全計画を事業所全体で共有している
- ・ 医療的ケア児を受け入れる医療機関と個別に情報共有を行っている
- ・ 医療的ケア児の主治医と個別に情報共有を行っている
- ・ 医療的ケア児家族に対して災害対策の重要性を啓発している
- ・ 医療的ケア児の個別避難計画を関係機関で共有している
- ・ その他（ ）
- ・ 特になし

105. 防災訓練をどのくらいの頻度で実施していますか。（1つだけ）

- ・ 年2回以上
- ・ 年1回
- ・ 年1回未満
- ・ 実施していない

106. 防災訓練ではどのような内容を実施しているかお答えください。 (いくつでも)

- ・ 救急搬送手順の確認
- ・ 避難訓練（地震・火災・水害など）
- ・ 連絡体制（保護者・医療機関・自治体等）の確認
- ・ 災害対策マニュアルの読み合わせ
- ・ 実技訓練（心肺蘇生法・AED 使用など）
- ・ 保護者への引き渡し訓練
- ・ その他（ ）
- ・ 特に実施していない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。